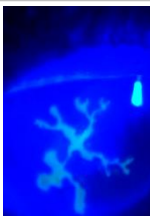




# フジタガンカニュース

Vol.81 2017.6.26

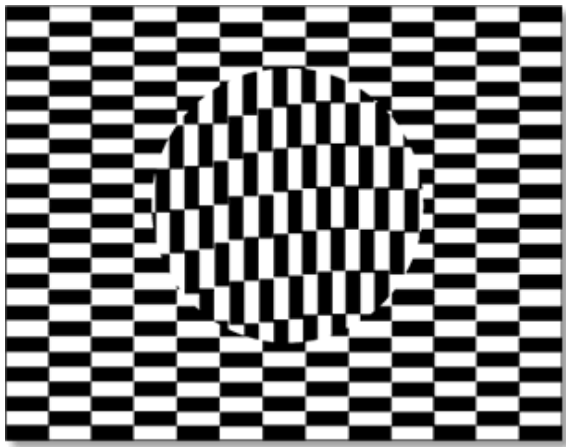


## 「眩暈(めまい)」は…「げんうん」とも読めるんです㊦(最終回)

今回のフジタガンカニュースも、前月号に引き続き『眩暈(めまい)』についての解説で、入野医院さんの解説文の引用です。

7.その他

目の前で振り子を振って、目をキョロキョロして振り子やメトロノームを追跡させるようなことから、めまいの基本的症状としての眼振が生じる状況は、視運動性眼振と呼ばれ、これに似たような状況は、車の運転中、テレビに熱中している場合などに生じます。ただ、この場合、眼球だけが動いているのか、目の動きと同時に首も回転していることが関係していることも無視できません。さらに、専門的な理論として、耳にある三半規管と視覚入力の脳に対する神経伝達のズレが生じて、自分のおかれた位置に対しての三次元的XYZ軸を構成する空間認識障害が、めまい、ふらつきの原因となっていると考えられています。いずれにしても、「目からのめまい」に関与するのは目だけの障害かの判断が難しい場合が少なくありません。



①地面や建造物の傾斜が強い特殊な環境を経験してないかどうか？②メガネ・コンタクトレンズなどの新調をしている(新調したことでの不調かもしれないという事)かどうか？を確認できれば、比較的簡易に否定できると思います「視力低下があるかどうか？」は眼科としては基本的な検査項目になりますので、やはり否定はそれほど難しくはありません。脳外科・耳鼻科・循環器に異常がない場合の「めまい」においては視力検査も必要という事に

なりますけれど、視力が低下している場合…通常は「めまい」よりも優先して「視力低下」を訴えてもらえるはずなので…やはり「めまい」の原因として眼科的な疾患というのは…可能性は低いんですよね(笑)。以前に当院内報において老眼解説をした際に自分自身の経験を踏まえて「初期老眼の症状としての『めまい』はあり得る」と記載をしました。ある意味メガネの調整不足ともいえるのですが、自分の経験談を踏まえると「如何様にメガネを調整しても改善が少ない事もある」ようで、点眼や飲み薬も効果はなく、最終的に一定の期間が過ぎて老眼の進行がある程度安定してくれないと症状が取れませんでした。全人類が経験することではないと思います(個人差は大きいはず)が、稀にはそういう事もあるので「めまいの原因が眼科の疾患である事がゼロ」という事はありません、非常に稀だから…検査の順番として…まずは脳外科(脳外科の原因の方が疾患の緊急性が高い)、次に耳鼻科・循環器科、それでも診断がつかなければ眼科、さらにはメンタルクリニックも…という順番なのだという風に理解して頂けたらと思います。

以上を持ちまして「めまい」についての解説は終了となります。さて、これからのフジタガンカニュースの内容についてですが、以前の予告の通り眼科と関連の深い「糖尿病」についての解説をしたいと思っております。「眼科での解説で、なぜ糖尿病なのですか?」(←糖尿病って内科の病気なんじゃないの?という意味で)という風に疑問を持つ方も多いかと思います。その理由は「糖尿病の患者さんは、糖尿病が原因で目が悪くなる事があるから」なのです。また、糖尿病で目が悪くなる状態の代表的な病態は「糖尿病網膜症」という病態ですが(網膜というのは、目をカメラに例えた場合に『フィルム』にあたる部分です)、この糖尿病網膜症の初期を発症している段階では、患者さん本人は「見えにくい感じがしない」のです。つまり自分では気づけないので…内科で「糖尿病ですよ!」と診断された方は自動的に眼科の通院が必要になる

…という事情なのです。「内科の通院だけでも大変なのになんで眼科なんか…視力が下がった感じなんてしないのに…」という意見はよくわかるのですが「それでも眼科受診は必要」という訳なのです。来月からの解説をお楽しみに(^^)/

### H29年夏期休診日程

	8/9	8/10~17	8/18
AM	○	×	○
PM	○	×	○

※ ×…休診 ○…通常診療

### 今月のお知らせ

当院にて4月24日~26日の3日間に配布したフジタガンカニュースには夏季休診日程の誤記載がありました。上記の日程は訂正後のものとなります、ご注意下さい。



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC  
藤田眼科  
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)  
P-Vision

①042 (645) 0575  
①042 (642) 2911